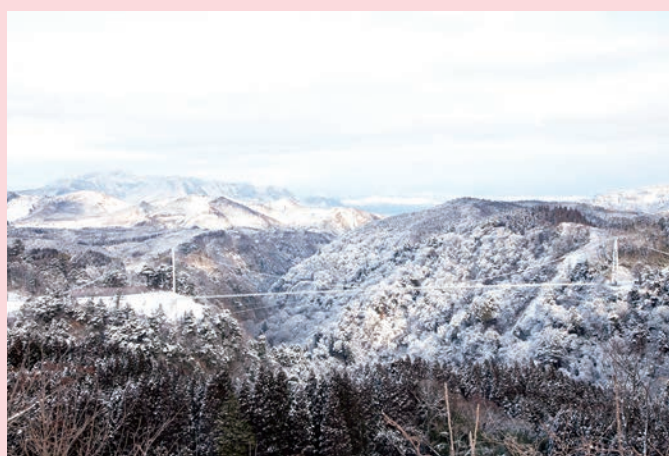


豊の国

雇用開発おおいた

No. 47

2022年2月



公益財団法人
大分県総合雇用推進協会

目 次

令和3年度協会実施イベントのご案内 1

- 1 豊の国雇用促進フェスタ
- 2 就職フェア
- 3 企業向けセミナー
- 4 副業・兼業人材活用セミナー
- 5 中途・キャリア採用のポイントセミナー
- 6 人事担当者キャリアアップセミナー
- 7 アビリンピックおおいた2021

関係機関・団体からのお知らせ 10

- 大分労働局
- 大分県商工観光労働部 雇用労働政策課
- 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 大分支部
- 公益財団法人 産業雇用安定センター 大分事務所

表紙の写真



「九重“夢”大吊橋」の冬景色 ／玖珠郡九重町

「九重“夢”大吊橋」(大分県九重町)は、全長390m、谷底からの高さが173mもある歩道専用としては「日本一の高さ」を誇る大吊り橋です。

標高777mの橋の上からは、日本の滝百選の一つ「震動の滝」や鳴子川渓谷、新緑と紅葉の名所「九酔溪」を一望できます。

圧倒的な大自然の迫力をもって四季折々の表情を魅せてくれる雪の降る冬の景色は一面真っ白な幻想的な世界が広がります。

2006年10月30日に落成して以来、多くの観光客が訪れ今や大分県を代表する人気スポットとなっています。

「豊の国雇用促進フェスタ」の開催

令和3年度「豊の国雇用促進フェスタ」が令和3年10月18日(月)に大分市のトキハ会館において、大分労働局、大分県、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構大分支部及び当協会の主催により開催いたしました。

このフェスタは、年齢や障害に関わりなく働ける社会の実現を目指す取り組みの一環として毎年開催しており、県内の高齢者・障害者の雇用優良事業所等に対する表彰や記念講演を行っております。今年度は被表彰者や関係機関・団体等から109名の参加をいただき、盛大に開催されました。

広瀬大分県知事(代理は黒田秀郎副知事)及び当協会の杉原会長からの挨拶のあと、表彰式が行われ、県知事感謝状、協会長表彰、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰が雇用優良事業所及び優良勤労者に贈呈されました。

記念講演では、2020年に障害者雇用優良事業所として厚生労働大臣表彰を受賞した大分キヤノン株式会社 代表取締役社長 増子律夫氏をお招きし、「ダイバーシティポリシーに基づく障がい者雇用の進化」と題してご講演をいただきました。



杉原 正晴 協会長



フェスタ全体

受賞者紹介

◆知事表彰

高年齢者雇用優良事業所

社会福祉法人 安岐の郷 理事長 高橋 とし子
株式会社 アタックススマート 代表取締役社長 筒井 靖彦

障がい者雇用優良事業所

株式会社 大分からあげ 代表取締役 川邊 哲也
株式会社 フレイン 代表取締役 下田 保恵

優良勤労障がい者

阿部 孝宏 (オムロン太陽 株式会社 勤務)
橋本 誠 (有限会社 小笠原組 勤務)
奥津 克之 (龍南運送 株式会社 勤務)

◆協会長表彰

高年齢者雇用優良事業所

医療法人 畏敬会 理事長 井野邊 純一
株式会社 くらや 代表取締役 大倉 莊三郎

障がい者雇用優良事業所

社会福祉法人 一燈園 理事長 神徳 博宗
富双シート 株式会社 取締役社長 山田 博明
株式会社 友岡建設 代表取締役 友岡 孝幸

優良勤労障がい者

江藤 淳朗 (有限会社 ファン工業 勤務)
山本 泰 (株式会社 マツオカ 勤務)
住吉 なるみ (株式会社 浜繁水産 勤務)



◆（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰

障がい者雇用優良事業所理事長表彰

株式会社 千代田 代表取締役社長 宇治田 幸一

障がい者雇用優良事業所理事長努力賞

株式会社 大分県畜産公社 代表取締役社長 壁村 雄吉

有限会社 ファン工業 代表取締役社長 野崎 栄司

障がい者雇用支援月間における絵画・写真コンテスト理事長奨励賞

絵画の部（高校・一般） 梶山 歩（社会福祉法人暁雲福祉会ウインド 勤務）

写真の部 丹羽 信誠（キヤノンウインド株式会社 勤務）

披露

◆高齢者活躍企業コンテスト厚生労働大臣表彰特別賞

株式会社 美装管理 代表取締役社長 高野 浩子

記念講演：「ダイバーシティポリシーに基づく障がい者雇用の進化」

【キヤノンの企業理念】

キヤノンの企業理念は共生。キヤノンの創業者が持っていた理念。

現在は世界の繁栄と人類の幸福のために貢献していくキヤノンの企業理念である。

【大分キヤノンが目指す共生社会と取組】

- 人種・性別・障害の有無等にかかわらず、共生を実現しようとするのが基本。
- 共生を現実化するため、個々の適性・特性を見極め、個に対応する職種や企業社会を作る。
- 定期・不定期の個別面談を実施し、個々の資質・適性等を見極める。
- 個別面談で取得したキャリアスキル・特性をデータベース化、クリープする。

【キヤノンの紹介】

- キヤノンは連結関連会社 343 社、従業員は約 18 万人でグローバルに展開。

生産拠点は日本 25 社、アメリカ 5 社、ヨーロッパ 7 社、アジア 15 社

- 大分県内の拠点

- ・大分キヤノン（カメラ、レンズを軸に映像関連機器の生産。）大分キヤノン安岐事業所（本社）、大分事業所
- ・大分キヤノンマテリアル（オフィス関連の消耗品の生産）は杵築市のほか、大分キヤノン大分事業所の隣に消耗品の量産事業所のマテリアル大分事業所がある。

- 大分キヤノンの概要

- ・設立は 1982 年、従業員数 3,245 名、うち女性は約 25%、平均年齢 37 歳。
- ・本社事業所、大分事業所は 2005 年 1 月操業開始。日田事業所は 2019 年操業開始。
- ・かつてのデジタルカメラ組立会社から最先端の技術開発へ、ものづくり創造企業に進化している。カメラはロボット（自動機）で生産し、その自動機は内製品（設計、開発、製作）である。自動機を含めた精密品、生産インフラまでを創る総合企業となった。



講師：大分キヤノン(株) 増子 律夫氏



【大分キャノンの歩み】

1982年カメラ組立、2007年に多角化・内製化を進める。ベルト生産方式をやめ、2007年から自動化装置、自動化生産方式に転換した。現在はインテリジェンス生産、スマート生産、AIで物を作る生産方式になった。

【キャノンウインドの設立とこれまでの歩み】

○キャノンウインドは大分キャノンと社会福祉法人暁雲福祉会との合弁会社。

創 業：2008年。所在地：大分市迫地区。

事業内容：部品の箱詰、デジタルカメラ組立て前準備作業、カメラの付属品の梱包作業等。

従 業 員：知的障害のある従業員24名（うち重度判定者14名）及び支援スタッフ7名。

○大分キャノンには共生という理念、暁雲福祉会は「人間礼拝」という理念、広い意味で共通の理念を持っている。

○大分キャノンは真のダイバーシティを定着したい。障害者法定雇用率を達成したい。暁雲福祉会は知的障害者の一般就労・就労定着を実現したい。

○2007年10月に知的障害者の企業内実習（1年間）制度を開始し、特性に配慮しないといけないことも見極める。これにより、障害者が就労できる仕事の提供が可能との結論。

○2008年10月キャノンウインド株式会社の設立。2009年5月大分キャノンの特例子会社としての認定。（共生・人間礼拝の共通理念の大きな成果）

○大分キャノンは個々に呼応・対応するあらゆる道具（治工具、ロボット（自動機））を創る力があるため、個々の特性に見合う仕事の提供を行う。

○暁雲福祉会是个を見極める力、障害者の就労サポート（健康管理、社員同士のトラブル、特性に合わせた作業の提供等）を行う。

【障がい者の雇用率の実績】

大分キャノンの障害者数（重度等換算後）、法定雇用率、実雇用率とも、キャノンウインドの設立により法定雇用率を超えた実績を維持している。

【社会の皆さんとともに】

2008年創業後、2012年に「障がい者就労支援フォーラム」を開催、福祉関係者152人参加いただき、取組を紹介・様々なご意見をいただいた。これらの取組で2013年キャノンプレジデントアワード（世界中のキャノンのグループ会社）の最高賞を受賞した。

2020年3月大分県人権尊重社会づくり推進功労賞大分県知事賞を受賞し、10月に優良事業所厚生労働大臣表彰受賞、11月に独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰を受賞。これらの取組を情報発信し、社会全体のダイバーシティ推進に貢献し続けたいと考えている。

【障害者雇用とこれからの姿】

障害者雇用のこれからの姿を語るとき、単に障害者雇用だけの視点ではいけない。雇用を維持し続けるためには永続的に事業継続できなければ可能ではない。営利企業として普遍的な事業活動を行うことが真の共生・ダイバーシティにつながる。このベースにあるものは個々の特性を丁寧に見極め、特性に適合する仕事の創出を追い求めることが基本になってくる。

【仕事を創る知恵】

テクノロジーやサイエンスがハンディキャップを克服していくと考える。既にパワー・スーツとか人力を補うものがあるし、人体に同化する義足・義肢といったものが近未来に実現すると考える。また、VR、AIによって、仮想現実と現実の組み合わせで、視的ハンディキャップを持つ方が健常者と同じように作業ができるような技術テクノロジーが目前に実現してる。テクノロジーサイエンスが、ハンディキャップという言葉が皆無にして、将来真のダイバーシティ社会となっていくと思う。

【最後に】

本田技研の本田宗一郎創始者が人の社会を森に例えたお話をしている。森にはスギやヒノキなど高木、低木、雑草もある。建築資材の視点だけで見ればスギ、ヒノキが大切だが、スギ、ヒノキ以外の低木、植物を刈ってしまったら森は枯れてしまう。森には多様な植物が必要、森は全てのものが協調しているからハーモニーとなる。これは人の社会をたとえた話だと考える。

これから人類は豊かな高度な文明（内面的にも高度な）を求めていかなければならないと考える。その上で、人類のテクノロジーやサイエンスがハンディキャップを無くし、全ての人がそれぞれの特質・特性を相互に共有し、豊かな未来を実現していくと確信している。

私たちキャノンは、人々の共生を理念のもと未来に向け歩みを続けていきたい。

就職フェアの開催

当協会主催、大分労働局、大分県、大分市の共催により、「おおいた夏の就職フェア」を8月13日(金)に大分市のトキハ会館において、12月29日(水)にレンブラントホテル大分において「おおいた冬の就職フェア」を開催しました。また、大分労働局委託の若年者地域連携事業の一環として、10月21日(木)にトキハ会館において、「おおいた秋の就職フェア」を開催いたしました。

企業情報をより積極的に発信していただくため、例年に引き続き、面談対象者をインターンシップ情報取得等まで拡充するとともに、参加企業による「事前プレゼンテーション」に力を入れるなど、内容の充実を図りました。

開催に当たっては、換気及びフィジカルディスタンスに留意した会場レイアウトとし、各企業ブースに飛沫防止卓上パーテーションを設置するとともに、面談時間を1人30分以内として、会場内の人数が必要最小限に抑えられるよう管理に努めました。

また、検温、手指消毒・マスク着用の徹底はもちろんのこと、参加者を特定できるよう原則完全ブース予約制による面談会方式としております。

夏のフェアではウイルス感染拡大期の第5波と重なるなど、今年もコロナ禍での開催となりましたので参加者数は前年に及びませんでした。企業サイドからは「学生と直接面談する機会が持てて良い出会いがあった」、「このような状況の中で対面式を開催していただき、ありがとうございました。」「感染対策もよかったです。」等の感想をいただきました。

なお、「リモートによる対応もご検討いただきたい。」とのご要望をいただいております。大分県受託事業の「おおいた産業人財センター事業」で、オンライン企業説明会・相談会を定期的に開催しております。

当協会事業で「事前予約制による対面式面談会」を開催していくこととし、おおいた産業人財センターでオンライン方式の説明会を実施するなど、業務の棲み分けと効果的な事業展開を行うこととしております。

これからも当就職フェアを県内企業情報を積極的に発信する場としてご活用いただき、マッチングの一助としていただければ幸いです。

参加数		夏の就職フェア		秋の就職フェア		冬の就職フェア	
		トキハ会館		トキハ会館		レンブラントホテル大分	
企業		44	(44)	49	(49)	48	(48)
学 生	計	22	(49)	13	(37)	9	(17)
既 卒	計	8	(3)	7	(6)	12	(7)
UIJ ターン	計	2	(4)	0	(3)	5	(4)
35歳未満 求職者	計	12	(13)	5	(16)	19	(15)
インターン シップ情報 希望学生	計	1	(11)	3	(7)	11	(8)
保護者	計	0	(2)	0	(2)	1	(2)
合 計	計	45	(82)	28	(71)	57	(53)

※() 内は昨年度の参加数



夏の就職フェア(企業プレゼン)



秋の就職フェア(企業プレゼン)



冬の就職フェア(企業プレゼン)



夏の就職フェア(面談会)



秋の就職フェア(面談会)



冬の就職フェア(面談会)

「企業向けセミナー」の開催

令和3年11月24日(水)午前に、会員企業対象の「企業・人事採用担当者セミナー」を、午後に会員及び一般企業対象の「助成金セミナー」を大分市トキハ会館5階カトレアの間に於いて開催しました。

このセミナーは、ウイルス感染防止対策と遠隔地参加者の利便性を図るために、初めての試みとして、会場のセミナー内容をオンラインで同時配信を行うハイブリッド方式で実施しました。

また、スムーズな配信を行うために配信業務を事業者へ依頼した結果、「音声が届かない」とのご意見も一部いただきましたが、大きなトラブルなく実施できました。

午前のセミナーは42社（会場14社、オンライン28社）、午後のセミナーは153社（会場40社、オンライン113社）、累計で195社から人事・採用関係担当者のご参加をいただきました。

参加者アンケート結果を見ると、午前のセミナーは「参加してよかった（83.3%）」、「良くなかった（0.0%）」、「どちらともいえない（16.7%）」で、説明に興味を持たれていたようです。

午後の助成金セミナーのアンケート結果は「参加してよかった（71.7%）」、「良くなかった（5.0%）」、「どちらともいえない（23.3%）」で、個別意見では「各種助成金があることが知れてよかった」、「知らない助成金を知れたこと」など良かったとする意見の一方で、「説明内容が大まか、対象・項目を絞ってほしい」、「知ってる内容が多い」など、参加者の役職やキャリアに応じた幅広いご意見をいただきました。

来年のセミナーは、ご意見を参考にして開催方法・内容等を検討し、参加満足度の高いものにして参りたいと考えております。

＜セミナー内容＞

【午前の部】 会員企業人事・採用担当者セミナー

- 中途採用比率の公表とハローワークインターネットサービスの活用について
- 障害者の雇用促進について
- シルバー人材センターの活用について
- 大分県総合雇用推進協会令和4年度イベント等計画（素案）等について



午前の部 セミナーの様子

【午後の部】 企業向け助成金セミナー

- 「生産性要件」が設定される助成金について
- 産業雇用安定助成金について
- 両立支援助成金について
- 65歳超雇用推進助成金について
- 大分県の補助金等について



午後の部 セミナーの様子

「副業・兼業人材活用セミナー」の開催



大分県プロフェッショナル人材活用センターでは、政府が進める「地方との関係人口の創出・拡大」の一環として推進されている副業・兼業人材の活用に関し、県内中堅・中小企業の副業・兼業についての理解増進と活用推進を目的に、令和3年8月25日(水)にトキハ会館において、「副業・兼業人材活用セミナー」を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、30社（1社2名まで）を上限に参加企業を募集したところ、22社30名のご出席をいただきました。

当日は、2部構成とし、第1部では株式会社みらいワークスの高橋寛ディレクターより、第2部ではJOINS株式会社の猪尾愛隆代表取締役より、それぞれ講演をいただきました。

第1部の高橋講師からは、「月5万円からの経営課題解決、副業プロ人材活用のススメ」の演題で、都市部人材の地方企業への人材マッチング事業として「GLOCAL MISSION Jobs（グローバル ミッション ジョブズ）」や「Skill Shift（スキルシフト）」といった同社の商材を活用した、低コストで効率的に経営課題が解決できる仕組みの紹介をいただきました。

第2部の猪尾講師からは、「売上増・コスト減に効くデジタル業務に副業プロ人材を活用する具体的実践方法」の演題で、中小企業のデジタル化業務で成果を出すための重要ポイントや、重要ポイントを実践するための副業・兼業プロ人材の具体的な活用方法についての説明をいただきました。

参加の方へのアンケート結果では、「期待どおりの内容で、今後活用できそう」、「デジタル化などは喫緊の課題であり、課題解決の具体例が見られたので今後、改めて自社でも検討したい」といった感想が寄せられました。また、現時点で副業・兼業人材を活用してみたいと考える企業は過半数を上回り、県内企業でも「副業・兼業」への関心が高まって来つつあることが感じられました。



(株)みらいワークス
高橋 寛 氏



JOINS(株)
猪尾 愛隆 氏

「中途・キャリア採用のポイントセミナー」の開催

おおいた産業人財センターでは、企業の人材確保支援の一環として「中途・キャリア採用のポイントセミナー」を開催しました。今年度は採用活動におけるオンラインの活用に焦点をあて、センター登録企業の中で先進的な取組をしている2社からの実例報告という形で、令和3年7月27日(火)キハ会館において開催しました。初の試みとして対面とオンラインの併用で開催しました。会場参加は13社14名、オンラインは16社の参加がありました。

最初に、株式会社HAB & Co.のマネージャー宮本純弥氏から「オンラインを活用した選考フロー設計の方法と手法の実例」と題して、新卒採用及び中途採用における選考フロー設計・施策の考え方、新卒採用の実例、中途採用の実例、その他デジタルツールの活用例について講演していただき



(株)HAB & Co.
宮本 純弥 氏

きました。オンラインを活用する上でのポイントは、オンライン活用のデメリット（会社の雰囲気が伝わらない、反応が見えにくい、キャンセルが増える等）をオンライン説明会のやり方の改善や他のツールの活用でデメリット部分を補うことが重要。新卒採用のオンライン説明会では、会社の魅力である「事業・職務」内容を強調し、「説明会兼1次選考」という建付けにし、事業内容を説明した後、それをもとに個人・グループワーク、その発表と解説、最後にアンケートで学生の満足度等の状況を把握する。中途採用では、選考スピードを意識して、早い者勝ちとの認識で選考と結果を早くすること、面接では「構造化面接」（評価基準と質問項目を決めておくやり方）により求職者の「過去の行動と発揮した力」のみで評価を行う。オンラインのデメリットを補うものとして会社のHPやSNSでの発信は重要、特にHPは常に更新し会社の雰囲気が伝わるもの、社員の顔が見えるものに変えていくことが重要との話がありました。

次に、株式会社別大興産の総務部係長山田裕貴氏から「採用強化のための取組」と題して講演をしていただきました。採用計画ではあくまで新卒採用がメインであり、中途採用ではリファラル採用（社員からの紹介や推薦による採用）の割合を増やしているとのこと。採用強化では採用戦略・労働条件・募集方法の3つの強化を図ることで、新卒・中途とも応募数の増加につなげている。採用戦略強化では、自社で活躍する人材の可視化を実施。企業の風土、文化も合わせSPIで数値化し、伝えていくメッセージを明確にしていく。労働条件強化では、働く環境整備のため、パートも含め社員からの業務改善提案を募集し労働条件の改善を図る。採用方法強化では、コロナの影響によりオンライン対応を実施。Zoom有料版の契約、HPへの情報開示、オンラインインターンシップの開催、動画の作成、県内企業とコラボしたオンラインイベントの開催、リアル・オンライン同時開催の会社説明会の実施に取り組んだことが説明されました。



(株)別大興産
山田 裕貴 氏



最後は、両講演に関する感想や意見交換を行ったあと、名刺交換をしてセミナーを終了しました。

アンケートでは、「自社の採用計画を見直すきっかけになり良かった」「オンラインの利用方法、各種ソリューションサービスを知ることが出来た」「他社の採用実践事例が参考になった」等の感想が聞かれ、回答いただいたほとんどの方から好評をいただきました。

「人事担当者キャリアアップセミナー」の開催



おおいた産業人財センターでは、企業の人材確保支援の一環として、「内定者辞退対策」と「離職防止（職場定着）対策」をテーマに人事担当者キャリアアップセミナーを、令和3年9月9日（木）トキハ会館において開催しました。今年度は企業からの事例報告から学ぶということではなく、外部講師を招聘して基本的な事項を学ぶということで実施しました。対面とオンラインの併用で開催し、会場参加では8社8名、オンライン参加では26社からの参加がありました。

講師は株式会社プレスタイム九州の代表取締役米澤金作氏を招聘。米澤氏は大分銀行を退職後、現在の会社で、組織マネジメント、職場の活性化、リーダーシップ、接遇・ビジネスマナー、職場定着化等多岐に渡る分野での研究、行政・民間・大学等での講演を多数行っている方です。

講演では、内定者辞退対策として、内定辞退を防ぐためには内定者とのコミュニケーション量を増やすことが重要。選考過程での工夫として、選考途中で若手社員などに会わせて自社で働くイメージを持ってもらう、広告宣伝用に顧客に配布するアイテム等を渡し自社への関心を高める。また、内定通知では、電話や郵送での書類通知ではなく、大勢の社員の歓迎ムードの中で内定出しや社長自らが熱い思いを伝えて内定出しを行うなど、「自分は歓迎されている、必要とされている」と感じてもらえるような内定出しを行う。内定承諾後の取組として、内定後も懇親会の開催や研修の実施など定期的に顔を合わせる工夫をするなど、具体的な例を挙げて説明していただきました。職場定着対策として、一つは、給与、福利厚生、労働時間・休日の職場環境の改善、適正な人事評価などの待遇改善に取り組むことが重要。2つ目に、社員間のコミュニケーションを活発化させ風通しの良い職場づくり・人間関係づくりを心がける、管理監督者は普段から部下社員の言動の変化に気を付け、早めの対応を行うことが重要であることを具体的な例を挙げて説明していただきました。最後に、退職に至るプロセスのどの時点までの説得であれば離職防止に有効かという話もありました。

講演後は、講演に関する感想や意見交換を行い、セミナーを終了しました。

アンケートでは、「新卒対応の話としてだけでなく、社員全員に当てはまる内容として聞くことができ、大変参考になった」等、回答したほとんどの方から「よかった」という感想をいただきました。一方で、オンラインでの音声聞き取りにくいなどの問題点も指摘を受け、次回の改善すべき課題となりました。



（株）プレスタイム九州
米澤 金作 氏

「アビリンピックおおいた2021」の開催

障害のある方々が日ごろ職場で培った技能を競い合うアビリンピック大分大会（大分県障害者技能競技大会）が、令和3年11月27日(土)に、大分市のサイクルショップコダマ大洲アリーナを会場として、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大分支部主催、大分労働局、大分県、当協会の共催により開催されました。

本大会は、障害のある方々の職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が、障害者に対する理解と認識を深め、障害者の雇用の促進を図ることを目的に開催しており、今年もコロナウイルス感染防止に十分配慮を行ったうえで7種目の競技が開催されました。

入賞者は次のとおりです。

アビリンピックおおいた 2021 入賞者一覧

◆ワード・プロセッサ競技

金賞 小倉 鉄郎
銀賞 古澤 慧
銅賞 廣瀬 武尊

◆喫茶サービス競技（一般の部）

金賞 高橋 夏姫
銀賞 近藤 あかり
銅賞 鍋嶋 達也

◆表計算

金賞 野村 まなみ
銀賞 竹村 重章
銅賞 利光 祐紀

◆オフィスアシスタント

金賞 佐藤 桃子
銀賞 工藤 奎太
銅賞 簗浦 巧

◆洋裁

金賞 葛城 啓子
銀賞 那須 明美
銅賞 五反田 ふじ子

◆製品パッキング

金賞 佐保 敬太
銀賞 甲斐 学
銅賞 鴛海 祐弥

◆ビルクリーニング(チャレンジコース)

金賞 矢野 健人

◆ビルクリーニング（一般の部）

金賞 高嶋 東美
銀賞 角 広幸

※アビリンピックとは？

アビリティ（ability・能力）とオリンピック（olympics）を合わせた造語です。パラリンピックがスポーツの祭典であれば、アビリンピックは技能の祭典といえます。）



中小企業の事業主の皆さまへ

ユースエール認定企業になりませんか？

若者はどんな企業で働きたいか？

働きやすい！

ワークライフバランスを大切にしてくれる！

子育てしやすい！

若者の育成に熱心！

その希望にこたえるのが、ユースエール認定企業です!!

「ユースエール認定企業」とは、「若者雇用促進法」に基づき、若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良であると厚生労働大臣が認定した企業です。

- 雇用管理が優良な企業でないと若者の採用が困難な時代です。
認定を見据えて、働き方や雇用管理の在り方を考えてみませんか。

<認定基準の一部>

- 前事業年度の、**正社員の月平均所定外労働時間が20時間以下**
かつ、**月平均の法定時間外労働60時間以上の正社員が1人もいないこと**



<認定マーク>

- 前事業年度の**正社員の有給休暇の年間付与日数に対する取得率70%以上**
または、**年間取得日数が平均10日以上** など

令和3年12月23日現在において、大分県内の「ユースエール認定企業」は次の17社です。全国(令和3年10月末現在)では854社が認定されています。

- 【大分市】・大分デバイステクノロジー 株式会社 ・三栄建設工業 株式会社
・株式会社 ATTS ・協栄工業 株式会社 ・サンワテック 株式会社
・明和プラント工業株式会社 ・株式会社大有設計 **new**
- 【由布市】・有限会社 スギショー ・社会福祉法人 庄内厚生館
- 【別府市】・有限会社 仁田野工業 【日出町】・株式会社エリア
- 【国東市】・テクノ化成工業株式会社
- 【中津市】・有限会社 東栄工業所
- 【日田市】・医療法人 百花会 上野公園病院 ・社会福祉法人 大喜福祉会
- 【佐伯市】・株式会社 サイメックス
- 【臼杵市】・社会福祉法人 熊崎福祉会

<5つのメリット>

人手不足対策としても有効!!

①ハローワークなどで重点的PRを実施

②就職面接会等への優先的な参加

③自社の商品・広告に認定マーク使用可能

④日本政策金融公庫による低利融資

⑤公共調達における加点点評価



厚生労働省・大分労働局・ハローワーク

「産業雇用安定助成金」で出向経費が軽減されます！

新型コロナウイルス感染症の影響で事業活動の一時的な縮小を余儀なくされた事業主が、在籍型出向により労働者の雇用を維持する場合に、**出向元と出向先の双方の事業主に対して助成**します。

※助成金の詳細は、「産業雇用安定助成金ガイドブック」をご確認ください。



厚労省HP

助成金の対象となる「出向」

【対象】雇用調整を目的とする出向（新型コロナウイルス感染症の影響により事業活動の一時的な縮小を余儀なくされた事業主が、雇用の維持を図ることを目的に行う出向）。

【前提】雇用維持を図るための助成のため、出向期間終了後は元の事業所に戻って働くこと。

令和3年8月1日以降に新たに開始される出向に関する特例

独立性が認められない事業主間の出向※¹も、一定の要件※²を満たせば助成対象となります。

※1 例えば、子会社間（両社の親会社からの出資割合を乗じて得た割合が50%を超える場合）の出向や、代表取締役が同一人物である企業間の出向など

※2 新型コロナウイルス感染症の影響による雇用維持のために、通常の配置転換の一環として行われる出向と区分して行われる出向が対象です。

その他の詳細は、「産業雇用安定助成金ガイドブック」をご確認ください。

対象事業主

- ①**出向元事業主** 新型コロナウイルス感染症の影響で事業活動の一時的な縮小を余儀なくされたため、労働者の雇用維持を目的として出向により労働者（雇用保険被保険者）を送り出す事業主
- ②**出向先事業主** 当該労働者を受け入れる事業主

助成率・助成額

出向運営経費（出向中に要する経費の一部を助成）

出向元事業主および出向先事業主が負担する賃金、教育訓練および労務管理に関する調整経費など。

独立性が認められない事業主間で実施される出向の場合は、助成率が異なります。

	中小企業※ ³	中小企業以外※ ³
出向元が労働者の解雇などを行っていない場合	9/10	3/4
出向元が労働者の解雇などを行っている場合	4/5	2/3
上 限 額（出向元・先の計）	12,000円/日	

※3 独立性が認められない事業主間で実施される出向の場合の助成率：中小企業2/3、中小企業以外1/2

出向初期経費（出向の成立に要する措置を行った場合に助成）

就業規則や出向契約書の整備費用、出向元事業主が出向に際してあらかじめ行う教育訓練、出向先事業主が出向者を受け入れるための機器や備品の整備など。

独立性が認められない事業主間で実施される出向の場合、出向初期経費助成は支給されません。

	出向元	出向先
助成額	各10万円/1人当たり（定額）	
加算額※ ⁴	各5万円/1人当たり（定額）	

※4 以下の場合、助成額の加算を行います。

- ・出向元事業主が雇用過剰業種の企業や生産性指標要件が一定程度悪化した企業である場合
- ・出向先事業主が労働者を異業種から受け入れる場合

申請・お問い合わせ先

助成金の支給要件は、このリーフレットに記載されている以外にもあります。

ご不明な点は、**大分労働局大分助成金センター**までお問い合わせください。

大分労働局大分助成金センター

住所：大分市東春日町17番20号大分第2ソフィアプラザビル4階 電話番号：097-535-2100



あなたの向上心と挑戦をバックアップします！ 技能士会入会のご案内



私たち技能士は、サービスからものづくりまで様々な場面で活躍しています。
しかし、個々の技能士の活動には限界があり、技能士会さらに技能士会連合会
に結集することで活動の幅を広げています。
技能の向上や後進の指導育成のため、ぜひ技能士会にご入会ください。



主な活動

- 技能向上に向けた研修会
 - 小・中学生ものづくり体験教室の開催
 - 大分県技能祭の開催
 - 優秀な技能者の表彰など
- 技能者の技能の向上、技能尊重気運の醸成を図るための活動をしています。



入会メリット

- 各種技能検定や講習会への相談、支援
 - 技能を競う全国大会への出場者を推薦
 - 国や県の各種表彰者を推薦
 - 会報による技能士情報の提供
- そのほか異業種の集まりである地域技能士会では人脈や見識を広げることができます。

(一社)大分県技能士会連合会

大分市大字下宗方字古川1035-1

☎ 097-542-6849

大分県労政・相談情報センター

労働相談

予約不要 相談無料 秘密厳守

大分県労政・相談情報センターでは、労働関係のトラブルや労務管理の悩み、労働者を雇用する時に守らなければならない労働関係法令など、雇用や労働環境などに関する相談をお受けしています。お気軽にご相談ください。

相談は、使用者（会社）や労働者だけでなく、ご家族やご友人からでもお受けします。

- 電話相談 フリーダイヤル 0120-601-540
 スマホ・携帯からは 097-532-3040

- 来所相談は、大分県庁舎本館7階 大分県商工観光労働部雇用労働政策課内
大分県労政・相談情報センターへ ※予約不要

相談受付は、月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く） 8:30～17:15

<各市町へ出向いての労働相談も実施しています>

- 巡回特別労働相談（弁護士、労働基準監督官、県職員対応）
- なんでも労働相談（県職員対応）

※開催日程は、大分県ホームページで「労働相談」で検索してください。

出前労働講座

会社の管理者や労働者を対象にした「出前労働講座」を無料で実施しています。講座のテーマは、労働法令のポイントや「働き方改革」の内容について解説します。※テーマの設定は相談に応じます。※資料を作成し、指定される会場・時間に出向きます。

労働法を学び、雇用の安定につなげましょう！！

【講座に関するお問い合わせ先】
大分県商工観光労働部雇用労働政策課 労働相談・啓発班
☎097-506-3353・3354

広報誌「労働おおいた」

県内の労働関係情報を掲載し、2ヶ月に1回発行しています。大分県ホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。※ご希望によりメール配信もしていますので、ご希望があればご連絡ください。（連絡先は「出前労働講座」の問い合わせ先と同じです。）

障害者雇用納付金の申告等に関する 事務説明会を開催（ご案内）

令和4年度にかかる障害者雇用納付金・調整金等の申告・申請の受付を令和4年4月から開始しますので、手続きを円滑に行っていただけるよう「障害者雇用納付金制度事務説明会」を下記の日程で開催します。

「障害者の雇用の促進等に関する法律」では「障害者雇用率制度」（法定雇用率）が設けられており、事業主は、その「常時雇用している労働者数」の2.3%以上の障害者を雇用しなければなりません。

障害者を雇用するには、作業施設や設備の改善、特別の雇用管理等が必要となるなど障害のない人の雇用に比べて一定の経済的負担を伴うこともあり、法定雇用率を守っている企業とそうでない企業とでは、経済的負担のアンバランスが生じます。

障害者雇用に関する事業主の社会連帯責任の円滑な実現を図る観点から、この経済的負担を調整するとともに、障害者の雇用の促進等を図るため、事業主の共同拠出による「障害者雇用納付金制度」が設けられています。

本制度により、**常時雇用している労働者数が100人を超える事業主は、令和3年4月から令和4年3月までの障害者の雇用状況の申告が必要**であり、法定雇用率を未達成の事業主は不足する障害者数に応じて障害者雇用納付金の納付義務が発生し、一方で法定雇用率を達成している事業主は雇用障害者数に応じて障害者雇用調整金を受給することができます。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、**1会場の人数を制限した上で開催**します。

参加を希望される方は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、今後中止になる可能性がありますので当支部までお問い合わせください。

地域	会場	日程	時間及び対象者
大分	ポリテクセンター大分	R4.2.21（月）	全日程共通 10:00～11:30 （1時間30分） 対象者：申告・申請の経験のある担当者様
		R4.2.22（火）	
		R4.3.7（月）	
別府	ハローワーク別府	R4.3.10（木）	
		R4.3.11（金）	
中津 【中止】	ハローワーク中津	R4.2.17（木）	全日程共通 13:30～16:00 （2時間30分） 対象者：申告・申請が初めての担当者様 ※豊後大野は午後中止
日田	ハローワーク日田	R4.2.24（木）	
佐伯	ハローワーク佐伯	R4.3.8（火）	
宇佐 【中止】	ハローワーク宇佐	R4.2.18（金）	
豊後大野	ハローワーク豊後大野	R4.3.4（金）	
全県（報奨金）	ポリテクセンター大分	R4.3.16（水）	

【お問い合わせ先】

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構
大分支部 高齢・障害者業務課

〒870-0131 大分市皆春1483-1 ポリテクセンター大分内
TEL 097-522-7255 FAX 097-522-7256

※令和4年2月7日現在の情報です。

※受付は各説明会の30分前から行います。

納付金 説明会 大分

検索

令和4年度 高齢者活躍企業コンテスト 高齢者がいきいきと働くことのできる 創意工夫の事例を募集します

当コンテストは、高齢者が長い職業人生の中で培ってきた知識や経験を職場等で有効に活かすため、企業等が行った創意工夫の事例を広く募集・収集し、優秀事例について表彰を行います。

優秀企業等の改善事例と実際に働く高齢者の働き方を社会に広く周知することにより、企業等における雇用・就業機会の確保等の環境整備に向けて具体的な取組の普及・促進を図り、生涯現役社会の実現に向けた気運を醸成することを目的としています。多数のご応募をお待ち申し上げております。

I 取組内容

働くことを希望する高齢者が、年齢にかかわらず生涯現役でいきいきと働くことができるようにするため、各企業等が行った雇用管理や職場環境の改善に関する創意工夫の事例を募集します。なお、創意工夫の具体的な例示として、以下の取組内容を参考にしてください。

取組内容	内 容（例示）
高齢者の活躍のための制度面の改善	①定年制の廃止、定年年齢の延長、65歳を超える継続雇用制度（特殊関係事業主に加え、他の事業主によるものを含む）の導入 ②創業支援等措置（70歳以上までの業務委託・社会貢献）の導入（※1） ③賃金制度、人事評価制度の見直し ④多様な勤務形態、短時間勤務制度の導入 ⑤各制度の運用面の工夫（制度改善の推進体制の整備、運用状況を踏まえた見直し）等
高齢者の意欲・能力の維持向上のための取組	①高齢従業員のモチベーション向上に向けた取組や高齢従業員の役割等の明確化 ②高齢従業員による技術・技能継承の仕組み ③高齢従業員が活躍できるような支援の仕組み（IT化へのフォロー、危険業務等からの業務転換） ④高齢従業員が活躍できる職場風土の改善、従業員の意識改革、職場コミュニケーションの推進 ⑤新職場の創設・職務の開発 ⑥中高齢従業員を対象とした教育訓練、キャリア形成支援の実施（キャリアアップセミナーの開催）等
高齢者が働き続けられるための作業環境の改善、健康管理、安全衛生、福利厚生などの取組	①作業環境の改善（高齢者向け設備の改善、作業姿勢の改善、配置・配属の配慮、創業支援等措置対象者への作業機器の貸出） ②従業員の高齢化に伴う健康管理・メンタルヘルス対策の強化 ③従業員の高齢化に伴う安全衛生の取組（体力づくり、安全衛生教育、事故防止対策） ④福利厚生の充実（休憩室の設置、レクリエーション活動、生涯生活設計の相談体制）等

※1 「創業支援措置」とは、以下の①・②を指します。

①70歳まで継続的に業務委託契約を締結する制度の導入

②70歳まで継続的に、「a.事業主が自ら実施する社会貢献事業」又は「b.事業主が委託、出資（資金提供）等する団体が行う社会貢献事業」に従事できる制度の導入

II 応募方法

1. 応募書類等

イ. 指定の応募様式に記入していただき、写真・図・イラスト等、改善等の内容を具体的に示す参考資料を添付してください。また、定年制度、継続雇用制度及び創業支援等定めている就業規則等の該当箇所の写しを添付してください。なお、必要に応じて追加書類の提出依頼を行うことがあります。

ロ. 応募様式は、（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構大分支部 高齢・障害者業務課
配付します。また、同機構のホームページからも入手できます。
ホームページURL：https://www.jeed.go.jp/elderly/activity/activity02.html

ハ. 応募書類等は返却いたしません。

2. 応募締切日

令和4年3月31日（木） 当日消印有効

3. 応募先およびお問い合わせ先

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構
大分支部 高齢・障害者業務課
〒870-0131 大分市皆春1483-1 ポリテクセンター大分内
TEL 097-522-7255 FAX 097-522-7256

高齢 コンテスト 募集 検索

キャリア人材バンク
(個人登録)

60～70歳で

再就職を希望する方を応援します！

生涯現役社会の実現に向けて、高年齢者の再就職をサポートします。

[利用料]
無料

キャリア人材バンクに登録しませんか

確かな実績と信頼

昭和62年に経済・産業団体と国の協力で設立された公益財団法人です。



きめ細やかな対応

担当者がマンツーマンで再就職へ向けてサポートいたします。

キャリア人材バンクに登録できる方

●下記のすべてにあてはまる方が登録できます

- ✓ 60歳以上70歳以下の方
- ✓ 在職している方または離職後1年以内の方
- ✓ 自らの能力・経験を生かして働くことを希望する方

キャリア人材バンクへ登録された方に仲介・あっせんを行います



公益財団法人 産業雇用安定センター

<http://www.sangyokoyo.or.jp/>



キャリア人材バンク

個人登録のご案内

登録可能な方

・ 60 歳以上 70 歳以下の方

※ 在職している方または離職後 1 年以内の方

登録・再就職支援の流れ

お電話で面談・登録のご相談（面談等スケジュールの調整）



登録手続き等の説明・求職受付票による受付

キャリアシート作成（履歴書・職務経歴書・職務能力記述書）

人材登録情報記入票作成（希望職種・賃金、キャリア、スキル等）



登録の完了（求人情報への応募が可能）

カウンセリング・講習等の実施

再就職活動

ご利用のメリット

- ・ 独自の求人情報があります
- ・ 職員がマンツーマンできめ細やかな支援を行います
- ・ 他の職業紹介機関（ハローワーク等）と併用利用が可能です
- ・ 当センターの職業相談・職業紹介等は、ハローワークの雇用保険の求職活動実績になります

[利用料]
無料

V.20200401

お問合せはこちら



公益財団法人 産業雇用安定センター

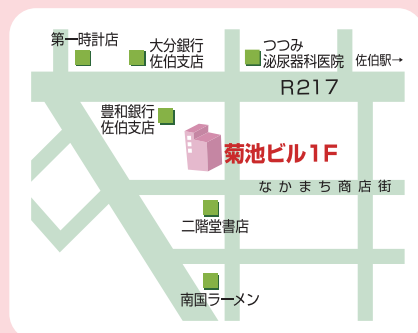
大分事務所

大分市府内町 3-4-20 大分恒和ビル 7 階

☎ 097-538-0512

FAX 097-540-5420

access map



公益財団法人

大分県総合雇用推進協会(本部)

〒870-0035 大分市中央町4丁目2-16 サンリラ中央3F

電話 097-532-8486 FAX 097-536-3945

URL <http://www.koyosuishin-oita.jp>

雇用推進協会

検索

おおいた産業人財センター・ジョブカフェおおいた本センター

〒870-0035 大分市中央町3丁目6-11(竹町通り enisie 内)

【UIターン】 電話 097-533-2631 FAX 097-576-8306

【ジョブカフェ】 電話 097-533-8878 FAX 097-533-8667

【プロフェッショナル人材活用センター】

電話 097-576-8309 FAX 097-576-8306

URL <http://www.enisie-oita.net>

おおいた地域若者サポートステーション

〒870-0035 大分市中央町1丁目2-3 KNTビル3F

TEL 097-533-2622 FAX 097-579-6178

URL <http://www.oita-ss.com/>

【県南常設サテライト】

〒876-0845 佐伯市内町8番4号 菊池ビル1階

TEL 0972-28-6117 FAX 0972-28-6118

URL <http://kennansaposute.saiki.jp/>